

令和6年度 学校評価結果

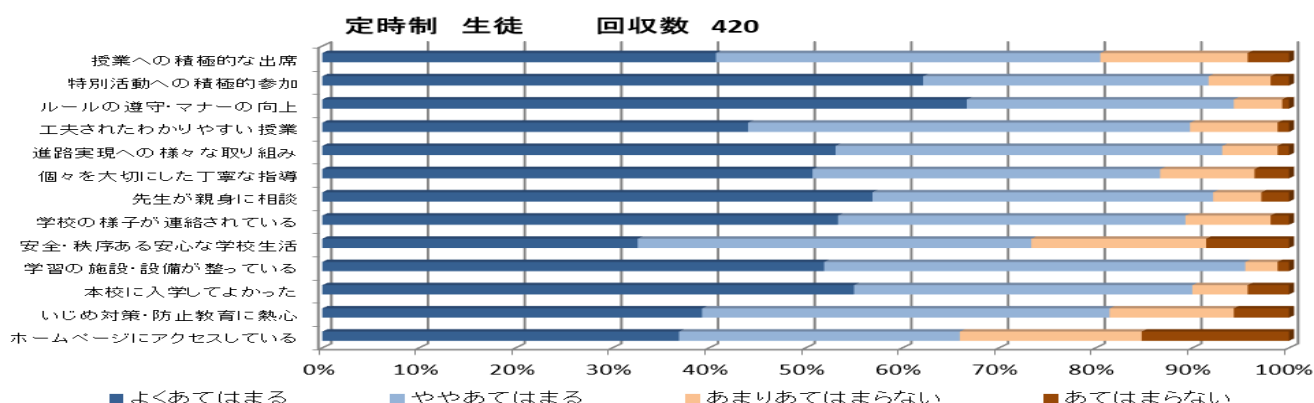
1 生徒アンケートから

(1) 定時制

肯定的な評価（「よくあてはまる」・「ややあてはまる」の合計）が、13項目中11項目で80%以上という高い割合で安定している。特に「学習の施設・設備が整っている」の項目は、95.5%の生徒が肯定的な評価をしている。これに続いて「ルールの遵守・マナーの向上」「進路実現のために取組」「先生が親身に相談に応じてくれる」が90.0%以上の高評価を得ている。

本校特有の丁寧で行き届いた指導に関わる項目の「生徒一人ひとりを大切にした指導」に関する肯定的な評価は、3.5%減じたものの86.7%であり、生徒にとって良好な教育環境が実現していると考えられる。「本校に入学して良かった」についても、昨年とほぼ同じ90.0%の生徒が肯定的な評価しており、引き続き一人ひとりを大切にした指導に努めていきたい。また、「授業への積極的な出席」に関する項目も昨年から4.1%上昇して80.5%であった。

「ホームページにアクセス」の項目は、肯定的な評価が66.0%に留まったが、昨年から1.5%アップした。一方、「安全・秩序ある安心な学校生活」に関する項目は、一昨年比で-10.8%、昨年からは4.3%下降して73.3%であった。現状の把握と課題の究明を図り、安全・安心な学校生活を提供していきたい。

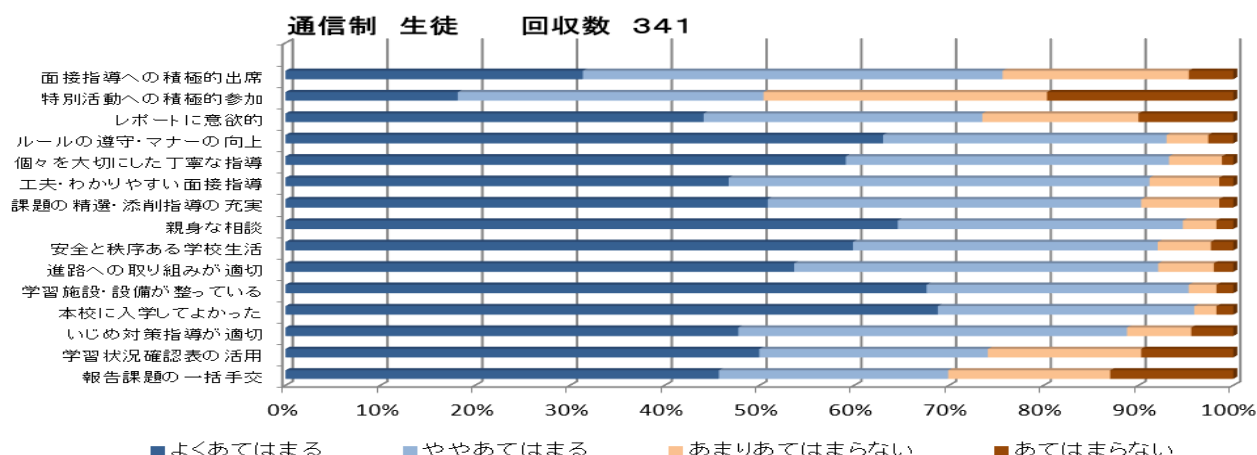


(2) 通信制

90%以上の肯定的な評価が15項目中9項目である。しかし、令和4年に新たに質問項目に加わった「報告課題の一括手交」は昨年から8.8%下降して69.9%であった。また、「学習状況確認表の活用」も3.1%減じ、74.1%であった。

「レポートに意欲的」は73.5%、「面接指導への積極的な出席」は75.7%であり、昨年とほぼ同じ割合であった。一方、「特別活動への積極的な参加」は昨年とほぼ同じ50.4%であったものの、他の項目と比較すると、著しく低い結果となっている。アフターコロナにおける特別活動・学校行事のあり方について、抜本的な改善に努めなければならない。同時に、一人ひとりの特性に配慮した特別活動への参加の工夫もこれまで以上に取り組む必要があろう。

「入学して良かった」の項目では、肯定的な評価が昨年の3.1%上回ってさらに高い値(95.9%)を示している。総じて、生徒にとって良い環境が実現している結果だと言えよう。



2 保護者アンケートから

肯定的な評価が80%を超えているのは、定時制では「生徒の成長を育む学校行事が行われている」(90.0%)、「生徒・保護者との面談が適切である」(83.2%)など、9項目中の4項目である。通信制では、「教育相談に関して親切・誠実に対応している」(93.7%)、「いじめ対策の指導を適切に行っている」(94.6%)など、12項目中の10項目である。定時制・通信制ともに、その特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導が組織的かつ適切に行われ、その指導の充実を図っていると言える。

特に、保護者との連携に関する項目における肯定的な評価が定時制(96.0%、昨年比+4.5%)・通信制(99.0%)であり、学校に対する信頼の高さがうかがえる。

これに対して、定時制で肯定的な評価が80%を下回っている項目は「いじめ対策・防止教育が適切」である。この項目は、昨年の56.6%から微増したものの57.5%であった。学校での取り組みを保護者に理解してもらう必要がある。

通信制で肯定的な評価が80%を下回っている項目は、「学校行事に参加したい」(76.0%)である。この項目は、昨年(61.7%)から14.3%上昇した。今後も、保護者の来校の機会をさらに増やして教育活動の理解をいっそう求め、その上で、保護者の学校行事への参加を促していきたい。その一方で、「家庭で子どもとよく話す」は、昨年から16.6%下降し、73.5%であった。家庭での話題としても活用できる学校情報等を提供していきたい。

なお、保護者アンケートの回収率は定時制(37.6%、昨年比-12.4%)・通信制(21.8%、昨年比+1.7%)であり、生徒の回収率と比べて著しく低い。保護者の意向や関心等を正確に把握するためにも、回収率の大幅な上昇に向けた方策を積極的に講じなければならない。

総じて、本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念やスクール・ミッションとの合致が認められる。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努めながら教育活動を展開していきたい。

